

ちょっと拝見！ MOKA の職場



パソコン作業の様子



上司と打ち合わせの様子



趣味のボルダリング

(株) 日本デキシー 真岡工場
製造 2 課 1 係

かきめま ゆうた
柿沼 優太さん (30 歳)

安全性にこだわり
品質向上を目指します



デキシー商品の一部



仕事内容を教えてください

当社は紙製品等を中心とする食品容器の製造販売をしています。

私は入社 12 年目で、現在製造課に所属し、生産時におけるさまざまなリスクを考慮しながら製品の出荷判定を行っています。具体的には、加工時の汚れや成形不良、飲み口のめくれ等の問題を検査機や目視で確認し、さらに設備のトラブルが無いが、日報等の記録からも情報収集して検証します。日々製品の品質や安全性を広範囲に確認し、製品の安全性の向上に努めています。

入社のきっかけは何でしたか？

もともと機械・ロボットに興味があり、工業高校へ進学しました。就職活動では、自動車関係の求人が多い中、紙コップや紙製品関係の企業の工場は珍しかったため興味を持ち応募しました。現在の職場では、高校で学んだ機械トラブルへの対処方法や機械構造についての知識が役立っています。

やりがいは何ですか？

出荷判定による審査の結果、自身の判断によって不具合のある製品が発見され、工場外への流出を未然に防ぐことができた時、自分の判断に自身が持てます。最終的に納品された製品が店舗に並び、そのパッケージ等を目にした時は、生産時の苦労やささまざまな工程が思い起こされ、喜びを感じます。また、商品がもうすぐ店頭に並ぶという期待感も楽しみの一つです。

休暇の過ごし方は？

週 1 回ボルダリングに通っています。ボルダリングは腕の力だけでなく、身体全体を使い試行錯誤をして登るので、健康にも良いし楽しいです。通い始めて 5 年ぐらいになります。

今後の目標を教えてください

自分一人でも正確に出荷判定ができるよう、知識や経験を積んで製品の安全性の向上に努めていきたいです。

会社プロフィール



(株) 日本デキシー真岡工場

【所在】
鬼怒ヶ丘 1-14-1
【設立】
2009 年 10 月



会社 HP



紙コップ（紙カップ）、断熱カップ、紙皿（紙プレート）、食品容器等、環境にやさしいリサイクル可能な紙容器を製造販売しています。省資源や新素材を用いた紙容器の開発に取り組み、お客様の声を反映した体制を整えてきました。今後も多様化するニーズに応えられる高付加価値の紙容器を迅速に提供することを目指します。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ
Tel. 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp



あの日あそこ

第 427 回

みどりかわ きちこ
緑川 幸子さん
(熊倉在住・81 歳)



仲間とともに築いた
真女バドミントン部の創成期

私は昭和 18 年に台町で 3 人きょうだいの長女として生まれました。真岡駅の近くにいたので、幼い頃は、真岡駅前にある神社「守鐵社」で 4 月にお祭りが行われると、野外に白い大きなスクリーンが設置され、きょうだいで映画鑑賞を楽しみました。

真岡小、真岡中へ通い、中学校では運動が好きだったので、バレーボール部、ソフトボール部、バスケットボール部に所属していました。高校は、真岡女子高校へ進学しました。どの部活に入ろうかと考えていた時に、先生から「バドミントンをやってみないか」と誘われたのがきっかけで、バドミントン愛好会へ所属しました。初めてのラケット競技で、ほとんどの生徒が初心者だったのでみんな先生や経験者に基



▲県大会で優勝した時の一枚
(前列右から 3 番目が緑川さん)

消費生活センターメモ No.499

若者がターゲットのトラブル急増！
SNS やインターネットを介した「もうけ話」



18 歳になると、親の同意を得ずにさまざまな契約ができるようになります。一度契約すると、原則として一方的に解約することはできません。

【事例 1】ネット検索で見つけた「簡単作業で月 10 万円稼げる」という副業広告から、メッセージアプリで友だち登録をした。その後、事業者から電話があり、稼ぐために必要だと高額なサポートプランを勧められた。



【事例 2】SNS で知り合った相手から勧められ、消費者金融で借金をして投資サイトで暗号資産の取引をした。利益が出ているはずなのに、出金できない。



礎から教えてもらいながら、校庭や中学校の体育館を借りて毎日練習していました。そして、2 年生の時に出場した県大会では、個人戦で優勝。とてもうれしかったですね。そして 3 年生の時にバドミントン部となり、出場した県大会



▲カンボジア旅行での一枚

では個人戦、団体戦ともに優勝し、福岡県で行われた全国大会へ出場しました。部員たちと夜行列車に乗って移動したことや、栃木弁を少しからかわれたりしたことなど、どれも懐かしい思い出ですね。

卒業後は、市内の企業に 35 年間勤務しました。子育て中、バドミントンから一時離れた時期もありましたが、昭和 55 年の栃木国体では、バドミントン競技の審判員を務めました。

退職後は、友人や夫と海外旅行をしたり、最近



▲スポーツ吹き矢の仲間とともに

では、スポーツ吹き矢を楽しんでいます。吹き矢は腹式呼吸で行うスポーツなので健康に良いです。これからは気軽にスポーツを楽しみながら健康に暮らしていきたいと思います。

トラブル回避のポイント

「もうかる」などのうまい話は信用しない

「簡単に稼げる」ことを強調する広告を安易にうのみにせず、慎重に判断しましょう。SNS で知り合った相手とトラブルになっても、相手を特定できないことがあります。

借金を勧める業者は要注意

「お金が無い」と断ると、「すぐに元が取れる」と借金やローンを勧められる場合があります。「契約しない」ときっぱり断りましょう。

身分証明書の情報を SNS で送らない

申し込みの際に、学生証、運転免許証、健康保険証などの情報を求められても、決して提供しないでください。後で取り戻すことは困難です。



【相談窓口】消費生活センター（くらし安全課内）
Tel. 0285-84-7830（ハナシテナヤミナシ）
平日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※相談料無料